







# 香川県の成人男性は不摂食?

**朝食欠食や栄養の偏り 常に心の健康を保つ**



香川県内の成人男性に目立つ生活習慣の乱れ。糖尿病を予防するためにも早期改善に取り組むことが必要だと語る、とみおか内科クリニックの富岡幸生院長(香川県高松市内)

活や食習慣の見直しが求められている。

■欠食傾向続く

生活習慣病の一因とさ

れる食生活の乱れ。国が行つた10年国民健康・栄養調査によると、朝食欠食率に関する男性の全国平均は10.7%、女性は8.9%。男性の全国平均を9.3ポイント下回っているが、1日に2回以上吸う人が半数以上を占めた。また、週3回以上飲酒している男性の割合は42.8%で、全国平均を6.4ポイント上回っている。また、週3回以上回ったものの、成人男性は約90グラム下回ったものの、成人男性は約90グラム多く摂取している。

県健康福祉総務課は

「県内で炭水化物の摂取量が多いのは仕方がな

い」としながらも、「う

どん文化と上手に付き合

い」とみられる。

その原料となる穀

類の成人1日当たりの目安摂取量は470グラム

野菜摂取量の少なさも

目立つ。県が定める目安

摂取量は1日当たり350グラム。国民健康・栄

養調査で県内の成人1日当たりの野菜摂取量(0

6~10年の平均)が男

性は2.66グラムで全国

ワースト2位、女性が2

2.9グラムで同ワースト

1位となっている。今回

の調査でも男性2.68・

女性2.52・

1グラムと、男女とも全

国平均を約2.0グラム少

ない。

一方、うどんについて

は、うどん店に小鉢や煮

すよう働きかけるほか、

煙や飲酒など

で心のバランスを取ろう

としている。その原料となる穀

類の成人1日当たりの目

安摂取量は470グラム

野菜摂取量の少なさも

目立つ。県内の成人女性は目

安量を約7.0グラム下

回ったものの、成人男性

は約9.0グラム下

回つたものの、成人男性

は約9.0グラム多く摂取

していた。また、週3回

以上飲酒している男性

の割合は42.8%で、

0本以上吸う人が半数以

上を占めた。また、週3

回つて飲酒している男性



厚労省

## デカセギ雇用状況を説明

## 生田部長ら3人来伯会見

「デカセギの職業能力を上げることが重要」。厚生労働省職業安定局の派遣・有期労働策部の生田正之部長は、CIALE(国外就労者情報保護センター)主催のデカセギ国際フォーラムに参加するため11日に来伯して翌日記者会見し、そう強調した。2008年のリーマンショックで大量の在日ブラジル人が解雇されながら3年半が経過した現状と、日本政府の対策を聞いた。

## 「職業能力上げる必要ある」



記者会見を開いた生田部長(右から2人目)、外国人雇用対策課の宮田昌幸課長補佐、久保恵子さん(左から2人目、1人目)

YOSAKOI-SO-LAN 10周年

第6回

ブラジル全土に普及進む  
出場続ける? ジレンマも

第2回大会で総合優勝をかざった弓場チーム

実施団体数は着々と増え、現在、ブラジルYO

SAKOI-SÔLANが把握しているだけでも約80団体ある。

2007年から2年間

滞伯したJICAシニアボランティアの島原まさ子さんも、マナウスや北東伯の海岸都市など伯国各地を回り地方普及に一役買つた。浜崎マルセリーノ会長によれば、

出向いて新グループの

わざ、出場人数は500

人程度だ。

飯島氏は「出

い」という間に上がつた。そ

れまでは知らなかつた

が困難な状況にある。

5千弱だった。

経済の持直しにより

短期の就労は元に戻りつ

あるものの、「不安定

雇用の構造は変わらな

い」という。

日本語能力

や職業経験が不十分なた

め、自力で再就職するの

が困難な状況にある。

5千弱だつた。

結果、通訳を配置したハ

ローワークは08年度の

2事業に注力。その

結果、通訳を配置したハ

ローワークは08年度の



